

ニュージールランドに於ける母子保護問題

内務省囑託 生 江 孝 之 (談)

我が國に於きまして、乳兒、幼兒及び母親の保護に關する研究は、こゝ二十年この方に急足に進歩して參りましたが、一國としてこの種の問題の最も發達し且つ效果の多いのは、オーストラリアのニュージールランドであります。一體ニュージールランドは只今世界中で、乳兒及び幼兒の死亡率の最も少い所であります。然らば如何にしてニュージールランドがこのやうな好成績をあげ得るやうになつたかといふのは、婦人及兒童保健協會が熱心に努力しつゝあるからであります。この婦人及兒童保健協會といふのは、一九〇七年に設立されたもので、ドクトルエフ、テール、キング氏の主張の結果この實現を見るに至つたものであります。元來ニュージールランドは乳兒及び幼時の死亡率が少い所ですが、それでも尙よい保護の方法を講じたならば、死亡率を更らに減少させる餘地があるので、ドクトル、キングは此處をめざして、この協會を設立したのであります。この婦人

及兒童保健協會が設立されて以來、最近に至るまで十數年間に置きまして、如何なる結果を表してゐるかを示しますと、次の一例に依つても解ります。ニュージールランドロダデン市と云ふ、人口四萬近郊を加へれば六萬位の一都市がありまして、ドクトル、キング氏が住居してゐる所ですが、其處に於ては、一九〇〇年から一九〇七年まで七年間の乳兒死亡率は、百の生産に對し八%を有してゐました。所が一九〇七年から十二年迄は、その死亡率が六・五%に減じて來ました。一年づつに就いて云へば、一九一一年には四%、一九一二年には三・八%を減少し、爾來乳兒死亡率低下の度は今日もますます、良い結果になり、目下三%内外にとゞまつて居ます。かくの如き状態は如何なる都市にも見る事が出來ない好状態でありまして、實に世界一であります。ニュージールランド一國に就いて見ましても、今や百の生産に對し乳兒死亡率は六%を示してゐまして、國としても他

に比例なく、實に世界一であります。歐洲ではヌーデンが乳兒死亡率の最も少い國とされてゐますが、とてもこのニュージールランドの好成績には及びもつきません。このやうに乳兒死亡率の少いニュージールランドとはどのやうな地形を有してゐる國かと云ひますと、長さ千哩、幅は廣い所で百八十哩位、人口は約百十萬内外で、人口は東京市の半數に當つて居ります。このやうに人口の密度が稀薄である爲め、貧民も少く、乳兒の死亡率も少いといふのは想像に困らない事でありますが、之に加へて科學的豫防法を熱心に講じたからであります。

然らば乳兒死亡率を減少せしめるに、かくも效果のあつた婦人及兒童保健協會は、常に如何なる活動をなしてゐるか述べませう。この婦人及兒童保健協會は通常フランケット協會と稱せられてゐます。ニュージールランドの幼兒乳兒に關する事柄を調査しようとするれば、フランケット協會が云々と屢々あらはれて來ます。なせフランケット協會と唱へられるかと云ひますと、其はこの婦人及兒童保健協會が起つた當時、ニュージールランドの總督の職にあつた人はフランケット氏でありまして、フランケット氏はこの事

業に多大の同情と讚助を與へてくれましたし、氏の夫人も亦少なからず後援をしてくれましたので、これにちなんで、この協會をフランケット協會と稱し、この協會に勤務してゐる看護婦をフランケット看護婦と稱する所以であります。この兒童及婦人保健協會の事業としていかなる事を實行してゐるかといふに、其は次のやうな各種の事であります。

第一、母乳獎勵、母乳が乳兒死亡率に多大の關係を有してゐる事は、獨逸の或る地方での調査に依れば、乳兒の死亡率は母乳榮養(自然榮養)と人工榮養(牛乳等)との間に一と十六の差がある、と云はれてゐるのでも明らかであります。又英國のヨーク市に於ても一と二十内外の差が生ずると云はれて居ります。是等調査は少し極端に示されてゐるものかも知りませんが、乳兒の健康を保持する上に、乳兒の死亡を豫防する上に、乳兒は母乳を以て養育すべきものである、と云ふ事は最も必要なものがあります。

第二、母及び幼兒の保健に關する知識の普及。乳兒の死亡率を減じ、幼兒の健康を保つには、どうして育兒の知識を母親に普及しなければなりません。母親にこの知識が缺けて居つては、いかに他の方面で

やかましくといへども、少しもよい結果をもたらさないであります。それで母親ひとり／＼に宣傳せんが爲めに、種々の講演會を催し、雜誌新聞を利用し、通信教授をなし、冊子を發行し、書籍を著して、種種の方法で宣傳したのであります。その上このニュージーランドは前述したやうに餘り人口が多くない爲め、この宣傳が徹底的に隅から隅まで行はれたのでした。

第三、看護婦の活動、この兒童及婦人保健協會に屬してゐる看護婦は、皆資格のある有力な人物ばかりが選擇されてありますが、妊婦、乳兒、幼兒の榮養状態に對して常に深い注意を拂ひ、母子の保護に關する智識を普及して歩き、家庭全體の衛生に關する注意もしてゐます。

第四、母子保健に關する法律の改正。社會が既に母子健康問題に注意を拂ふやうになれば、最後の方法として、法律上の保護を得るのが、最も安全な適當な事でありませうから、法律の改正に至るまで手をのばしたのであります。

第五、類似の事業との協力。この婦人及兒童保健協會は、他の同様の目的を有する團體と互に共同し

て、人類の爲めの幸福を増進しようど、團體と團體との聯絡、調和を保つたのであります。

この婦人及兒童保健協會は、本部をニュージーランドの首府に置き、八つの支部を地方に有してゐます。本部には會長副會長二十名内外の委員が居つて、皆婦人が委任になつて居ります。支部には地方委員があつて、一支部毎に十五人乃至二十人居り、更に支部は分れて委員會を組織して、この委員會は八十八名の會員から成つて居ります。この地方支部にも委員會にも婦人が中心になつて働いてゐる事は無論であります。

協會の中で人として最も活動してゐますのは看護婦でありまして、二十四五名の精練されたる看護婦がこの協會に屬して居ります。一人の看護婦は半徑五十哩の面積の土地の責任を持つ事に定められてあります。東京から宇都宮までの間、東京から沼津までの間、と云ふ割合の土地の責任を一人で有することでありませうが、ニュージーランドは人口稀薄であります上、交通機關が完備してありますから、充分活動することが出來ます。看護婦は地方委員と相談して巡回の方法を定め、學校に於けるこの種の會に

出席したり、家庭會に出席したり、家庭訪問をしたりします。學校に於ては上級の女生徒に對して、乳兒及幼兒の取扱方法の講義をなし、子供を實際に連れて行つて實物教育を示すので、生徒は皆熱心に興味を持つて聞いて居ります。これはちようどアメリカにある「小さき母の會」と類似のもので、又家庭を訪ねて母親の相談相手となるばかりでなく、兒童健康相談所に定時に出席して、其處へ集る人々の顧問となりまゝ。この協會では人として看護婦がこのやうに尊い働きをしてゐます中に、一方物としては新聞の活動もめざましくあります。ニュージールランドの主なる新聞は、毎週一回づゝ一段二段は必ず乳兒欄が設けられてゐて、「我等の乳兒欄」(アワー、ベビース、クラブ)と稱せられて、婦人も男子も子供も大喜びで愛讀して居ります。このやうに新聞の宣傳は實に有效に行つて居ります。

このほかに、婦人及兒童保健協會では、乳兒保養院を設立して居ります。之も協會の設立者なるドクトル、キング氏が同じく協會の附屬事業として設立し主幹してゐるのです。乳兒保養院は病兒を收容するばかりでなく、榮養不良な兒、虛弱な兒は母親も共に收容して、養生をさせるのです。乳幼兒に虛弱な

原因は母にありと認めれば、母の健康の恢復に力を盡すやうな病院は、他に餘り類を見ないのであります。最初は、この病院は小規模であつたのですが、ロンドンに於てドクトル・キング氏が一夕この病院に關した講演を試みしたので、多大の同情が集り、殊にハリスといふ人は莫大の寄附を申込んで來ました。一九〇〇年以來年毎に擴張されて來つゝあります。

要するに以上はニュージールランドに於ける幼兒保護の狀態の概要であります。乳幼兒の死亡率を人智の考へ得る最少減度になし、母親の健康を増進される事が出來たのは、前述の如きニュージールランドの婦人達のはなばなしい活動に原因してゐるのであります。乳兒の死亡率の低下は必ずしも豫防の設備及方法によるばかりとは云へないが、或る程度までは設備方法を徹底的に實施したならば、ニュージールランドの示すやうな程度に減少する事が出來るだらうと思はれます。乳幼兒の健康を増進し、死亡率を低下せんとすれば、ニュージールランドの如きは他の國に於ても幾多參考の資に値する點が少くありません。前述の事は乳幼兒保護運動の一端をはなしたに過ぎませんが、ニュージールランドがこの努力をますます續けて行きましたならば、どんなにか偉大な事業が行はれる事でありませう、今やうやく乳幼兒問題の曉に達してゐる我が國は學ぶ點が多くあると思はれます。